

【帯広開発建設部】帯広市立豊成小学校で防災学習を実施しました

実施概要

概要 要: 帯広市立豊成小学校の3・5年生を対象に行われた防災教育への支援を実施。

実施日: 3年生 1回目 令和7年12月 3日(水) 川の水の流れを理解し、安全意識の向上を促す。

実施日: 5年生 1回目 令和7年11月 4日(水)

川の簡易模型実験で危険箇所を確認。

H28.8洪水の十勝管内の動画等から水害を自分事として捉える。

洪水から暮らしを守るための対策事例を紹介。

2回目 令和7年11月14日(金)

洪水から暮らしを守るために各班で何処でどのような対策を実施したいか話した成果を発表。

学校: 帯広市立豊成小学校 3学年 3クラス ・ 5学年 4クラス

防災学習実施状況

【3年生 川の安全について説明】

■ 川の水の流れの仕組みについて解説するとともに、児童に親しみやすい「うんこドリル」による問題・解説も活用しながら、川を安全に利用するためのポイントを伝えた。

【5年生 水害の自分事化・対策内容の発表】

■ 簡易模型でどのような場所が危険なのか確認し、H28.8洪水の動画や先生からH28.8洪水の実体験談の話をしてもらい、水害を自分事として捉えてもらった。

■ 洪水から暮らしを守るためにどのような対策があるのか事例紹介し、各班で対策が必要な場所や対策方法を考えた。

■ 各班で考えた様々な、ユニークな対策内容を発表。



川の水の流れについて説明



簡易模型による実験



先生からH28.8洪水体験談



生徒から成果発表